







康力学

2(28)5833

定期の予防接種の種類	対象	接種場所	接種回数	備考
高齢者 肺炎球菌	①満65歳の方 ②満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方	岛西古	10	①65歳到達月の翌月当初に個人通知します。自己負担金については、通知をご覧ください。 ②事前に手続きが必要です。健康推進課へお問い合わせください。 ※過去に接種したことのある方は、対象外。
HPV感染症ワクチン (子宮頸がんワクチン)	①小学校6年生から高校1年生相当の女子 ②平成9年4月2日から平成21年4月 1日生まれの方で、接種が完了していない方(※)	愛津弥あ海の医関西島富ま部指療のある (1) できまま (1) できまま (1) できまま (1) できます (1) できます (1) できません (1) できまません (1) できまません (1) できままません (1) できままままままままた。 (1) できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	2回または3回	対象者は無料で接種できます。 ※対象②で以下の条件に該当される方のみ接種期限が令和8年3月31日まで延長されました。詳細は市ホームページをご覧ください。 【条件】令和4年4月1日から令和7年3月31日までHPVワクチンを1回以上接種している方
高齢者帯状疱疹 予防接種	①年度内に65歳を迎える方 ②60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全 ウイルスによる免疫の機能に障害のある方 ③【令和7年度から11年度までの経過措置】 年度内に70・75・80・85・90・95・ 100歳以上となる方		①生ワクチン 「ビケン」: 1回 ②組換えワクチン 「シングリックス」: 2回 ※①、②いずれか一方	対象者に個人通知をします。自己負担金については、通知をご覧ください。 定期接種の対象として接種できるのは 生涯1度限りです。 詳細は市ホームページをご覧ください。

大人の風しんワクチン接種費用の助成について

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方に対し、 風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。

なお、風しんの抗体検査は、愛知県が費用助成を行っています。(ただし、対象者に条件があります。)

特別の理由による任意予防接種費用の助成について

骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断された方に対して、 再接種にかかる費用の助成をしています。再接種の前に健康推進課で手続きが必要です。

愛知県広域予防接種について

予防接種について、疾病や里帰りなどの事情がある場合、海部・津島地区以外の医療機関 (愛知県内の広域予防接種協力医療機関)で接種することができます。事前に手続きが必要となりますので、 健康推進課へお問い合わせください。

帯状疱疹予防接種(任意接種)について

任意接種による帯状疱疹予防接種費用の一部を助成しています。定期接種化に伴い、令和7年4月からは 50歳以上61歳未満の方(年度内に61歳になる方を除く)が対象です。詳細は市ホームページをご覧ください。



歯と口の健康口座

回臭あなだは大丈夫?

□臭には、生理的□臭と病的な□臭 があります。一日のうち、最も口臭が 強いのは、朝起きたときです。唾液の 分泌量が減って、自浄作用が起こらな いためです。唾液には、口の中の細菌 の増殖を抑えることで、□臭や□臭の 原因となるむし歯や歯周病などを防 ぐ作用があります。就寝前と起床後す ぐに念入りな歯みがきをすることに より、おいしく朝食を食べられ、唾液 が分泌され、口臭も弱まっていきま す。空腹時や緊張をしているときに は、唾液の分泌量は減少し、口臭が 徐々に強くなります。にんにくやニラ などのにおいの強いものを食べたと

きや、アルコール飲料を飲んだときに も口臭が強くなります。

病的な口臭の場合、その9割以上は 歯周病や進行したむし歯などの口腔 内の病気、舌の汚れが原因として起こ ります。歯周病では、歯周病菌が歯を 支える歯周組織を破壊するときや、歯 周病菌自体が臭いを発生させます。む し歯では、むし歯菌の酸によって溶け た歯の穴に食べかすや細菌がたまり、 □臭の原因となります。糖尿病や副鼻 腔炎などの鼻の病気、扁桃腺などが原 因の口臭もあります。

舌の上にたまった食べかすから細 菌が増殖すると、舌苔と呼ばれる白っ ぽい苔のような細菌の塊が舌の表面 に付着します。通常であれば、食べた り話したりすることで舌が動き、舌苔 の大部分は取り除かれますが、口や舌 の動きが低下すると、舌苔が残りやす くなり口臭の原因となります。

□臭を予防するには、歯周病やむし 歯などがある場合、まずはそれらの治 療をします。歯みがきを正しく確実に 行い、口臭の原因となるプラーク(歯 垢)を落としたり、舌ブラシを使って 舌苔を取り除くことが大切です。ま た、唾液腺マッサージで唾液の分泌を 促すことも勧められます。

(海部歯科医師会)



